

北九州市環境科学研究所報

第 34 号

(平成18年度)

北九州市環境局環境科学研究所



北九州市民憲章

わたしたちのまち北九州市は、美しい自然に恵まれ、ながい歴史とたくましい産業をうけついできました。

わたしたち北九州市民は、このまちを愛し、よりいっそうの市民参加によるまちづくりをめざしています。

このふるさとに、実りある未来を築くため、わたしたちは、みんなで守る約束を定めます。

緑を豊かに 清潔で美しいまちにします

きまりを守り 安全なまちにします

人を大切にし ふれあいの輪をひろげます

元気で働き 明るい家庭をつくれます

学ぶ楽しさを深め 文化のかおるまちにします

はじめに

北九州市では、現在、「人にやさしい元気なまち」を目指した市政を進めており、環境の分野では「世界の環境首都」の実現に向けた幅広い視点からの取り組みを、また保健・衛生分野では、食の安全確保や感染症対策などの健康危機管理への取り組みを重点的に行っているところです。

この中で、当研究所は、環境行政及び保健・衛生行政の技術的中核として、その機能を十分に発揮し、市民、市政のニーズに応えることができるよう、組織体制や施設の整備を行ってまいりました。

一方、市の財政状況は他自治体同様に非常に厳しく、行政サービスの向上を図りながら、行政コストの削減に取り組まなければなりません。また、環境関係職員のいわゆる 2007 年問題により化学系職員の大量退職が始まり、いかに技術を継承するか、マンパワーを確保するかといった難問も立ちはだかっています。

このため、当研究所は、「民間でできることは民間に委ねる」という行財政改革の基本的考えに沿い、環境行政等の部署と協議の上、民間で可能な行政検査は民間委託化を進めているところであり、保健・衛生分野においても、直ちに困難であっても、この方向性は同様であると考えています。

このような状況の中、当研究所の果たすべき役割は、平成 18 年 3 月に中央環境審議会が答申した「環境研究・環境技術推進戦略について」にも述べられているように、○民間では行うことのできない行政検査を確実に実施すること、○地域における行政課題の解決に資する調査研究を実施すること、○苦情、事故、食中毒や感染症の発生等、緊急時へ対応すること、○民間検査機関から得られるデータをチェックすることであるとと考えています。

しかしながら、これらの役割をしっかりと果たすためには、職員一人ひとりの意識や技術の向上が欠かせないものでありますし、また財政的な裏付けも必要なものです。

このように、課題が多いものではありませんが、市民の健康や快適な生活環境を守るため、職員一丸となって、日々研鑽を重ね、業務に励んでまいりたいと考えています。

この所報は、平成 18 年度に北九州市環境科学研究所が実施した試験検査及び調査研究等についてとりまとめたものです。ご高覧のうえご教示等いただければ幸いです。

平成 19 年 4 月

北九州市環境科学研究所長
井 上 正 治

目 次

第1 沿革及び組織

沿 革	1
組 織	1

第2 業務内容及び業務報告

企画調整部門	3
環境科学部門	7
保健衛生部門	21

第3 調査研究業績(講演発表・論文・報告書)

1. 講演発表

・ 空气中ダイオキシン類の迅速分析法の開発(続報)	37
・ 排ガス中ダイオキシン類の迅速分析法の開発	39
・ 日本におけるギンブナ中のダイオキシン類蓄積量調査	41
・ 海面埋立処分場を想定した硫化水素除去実験	43
・ 農薬等のポジティブリスト化に伴う検査の精度管理に関する研究(第1報)	45

2. 論文・報告書

・ 総説：環境科学分析を行うにあたって～サンプリングと分析計画～	47
・ 平成18年度 化学物質分析法開発調査報告書(テトラメチルチウラムジスルフィド)	47
・ 平成18年度 化学物質分析法開発調査報告書(o-クロロトルエン)	48
・ ひびきの地区揮発性有機化合物(VOCs)実態調査報告書	48
・ 「オンサイト型環境汚染物質高感度迅速分析システムの開発」報告書	48
・ 平成18年度 食品・添加物等規格基準に関する試験検査等について (残留農薬一斉試験法の適用に関する研究)	49
・ 九州地区における食品由来感染症の拡大防止・予防に関する取り組み - IS-printing Systemに関する基礎的研究 -	49
・ レジオネラ属菌のPFGEの精度管理、及び九州各機関で検出された Legionella pneumophila a serogroup 1 のPFGEによる比較解析	50
・ 保育所におけるナリジクス酸耐性 Salmonella enteritidis 食中毒事例	51
・ An Outbreak of Nalidixic Acid-Resistant Salmonella enterica Serovar Enteritidis at a Nursery School in Kitakyushu City, Japan	51
・ エコーウイルス18型の分離状況-北九州市	52

第4 環境マネジメント（EMS）の構築・運用

・ 環境マネジメント（EMS）の構築・運用	53
・ 北九州市環境科学研究所 環境方針	54
・ Kitakyushu City Institute of Environmental Sciences Environmental Policy	55

第5 資料編

1 職員配置表	57
2 職員名簿	58
3 予算概要	59
4 分析機器整備状況	60
5 検査区分及び依頼別分析件数	61
6 分析検査数	62
7 派遣研修	63
8 平成18年度調査研究テーマとその概要	64
9 庁舎配置図	65
10 特許取得及び出願状況	66